

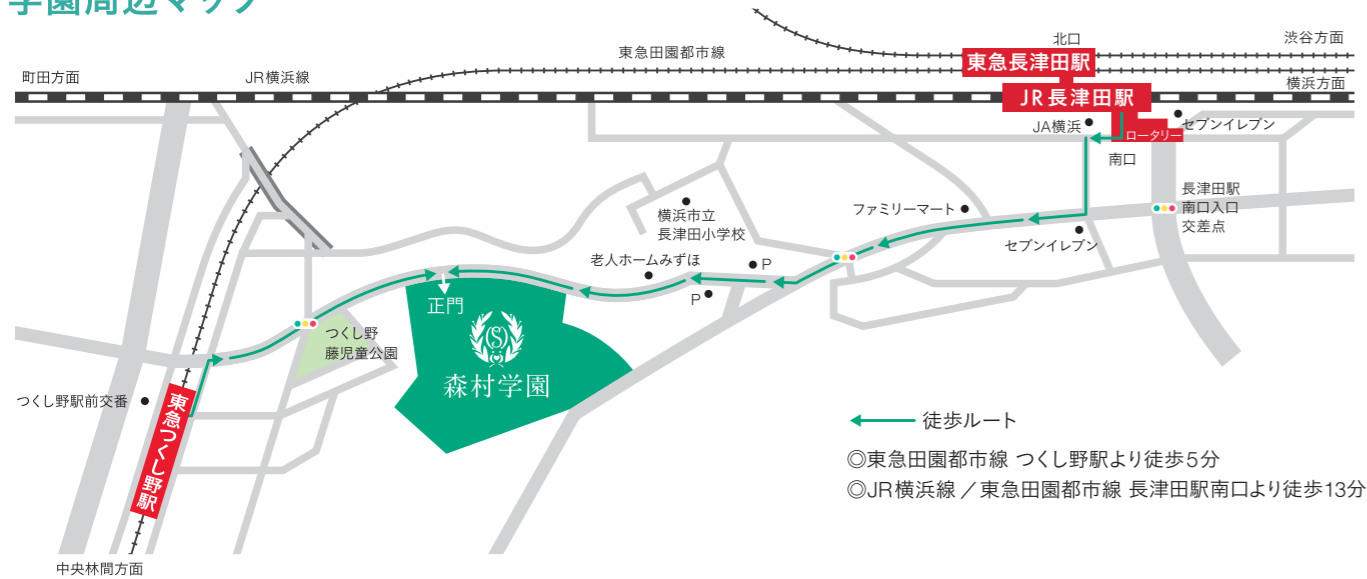
MORIMURA MIND



森村学園 中等部 高等部

学校案内2027

学園周辺マップ



説明会・イベント情報

学校説明会

第1回 6/17 水 10:00 ~ 11:30	第2回 10/24 土 10:00 ~ 11:30 15:00 ~ 16:30	第3回 11/7 土 15:00 ~ 16:30	2027年 6年生対象 1/9 土 15:00 ~ 16:30
--------------------------------	--	--------------------------------	--

帰国生向け学校説明会 7/25 土 15:00 ~ 16:30	オープンスクール 8/29 土 10:00 ~ 12:30	みずき祭(文化祭) 9/12 土・13 日	入試問題解説会 12/5 土 15:00 ~ 17:00頃
---------------------------------------	-------------------------------------	--------------------------	-------------------------------------

※説明会・イベントはすべて予約制です。 ※詳細はホームページでご確認ください。

森村学園 中等部 高等部 <https://www.morimura.ac.jp/jsh/>

〒226-0026 神奈川県横浜市緑区長津田町2695 Tel. 045-984-2505 Fax. 045-984-2565



中等部高等部
ホームページ



LINE
公式アカウント



MORIMURA MIND

INNOVATION
MIND
SHINKA

建学の精神である「独立自営」の考えのもと
自ら**挑戦・活躍・貢献**する人材を育てる学びのプログラム



MORIMURA MIND

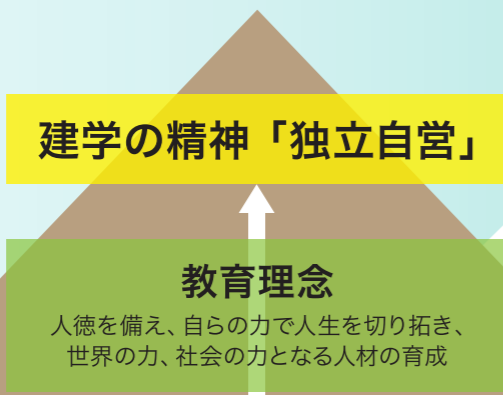
絶えず変化し続けるこれからの社会で果敢に生きていくために、
創立者・森村市左衛門の掲げた「独立自営」の精神を「森村マインド」を通してじっくり養います。
それを土台に、未来を見据えて進化・深化していく教育プログラムの実践によって、
世界の力、社会の力となる生徒を育てます。

森村市左衛門が説いた、新しい時代を乗り越えるための建学の精神「独立自営」

創立者・森村市左衛門は、幕末の混乱期に日本で初めて民間による日米貿易を開始しました。当時、列強の国々との不平等な通商条約のもとで、日本の富が一方的に海外に流出していることを憂いた市左衛門は、貿易を振興し経済力を向上させ、国を豊かにしなければならないという断固とした使命感を持っていました。弟の献身的な

協力のもと、さまざまな辛苦の連続を乗り越え、不屈の精神と行動力で、日米貿易のパイオニアとして活躍しました。さらに、幕末から大正期にわたって、日本の経済や実業だけでなく社会福祉や教育の分野においても偉大な足跡を残しています。特に、晩年における「人づくり」にかける情熱と実行力はすさまじく、教育機関や研究所へ

の多額の寄付だけでは終わらず、東京高輪の自宅の一角に、のちの森村学園を創立しました。「依頼心を起こさず、胆力至誠の決心にて困難に打ち勝ち、人類社会の幸福を求める為に奮励努力する」という「独立自営」の精神と、市左衛門の人生訓である「正直・親切・勤勉」は、現在に連綿と継承されています。



校訓 - 行動指針 -		
<p>■ 正直 誠実であることを最上とし、偽りのない人であれ。</p> <p>正直 ①自分自身に偽りのない心を持つ。 ②相手を信頼し、誠実な心で接する。 ③徳を重んじ、人として正しい道を歩む。</p>	<p>■ 親切 あたたかき心を持ち、行動する人であれ。</p> <p>親切 ①自らを大切にでき、人の悲しみや喜びに共感できる心を持つ。 ②互いの個性や立場を尊重し、思いやりを持って行動する。 ③自らを取り巻くすべてのものを愛し、大切にす。</p>	<p>■ 勤勉 人の力は無限に進む。学び続ける人となれ。</p> <p>勤勉 ①学ぶことの喜びを知り、真理を求め続ける強い心を持つ。 ②自分や他者の良いところに気づき、よりよい関係を築こうとする。 ③学びを生かし、自らの夢と幸せな社会の実現を目指す。</p>



創立者・森村市左衛門

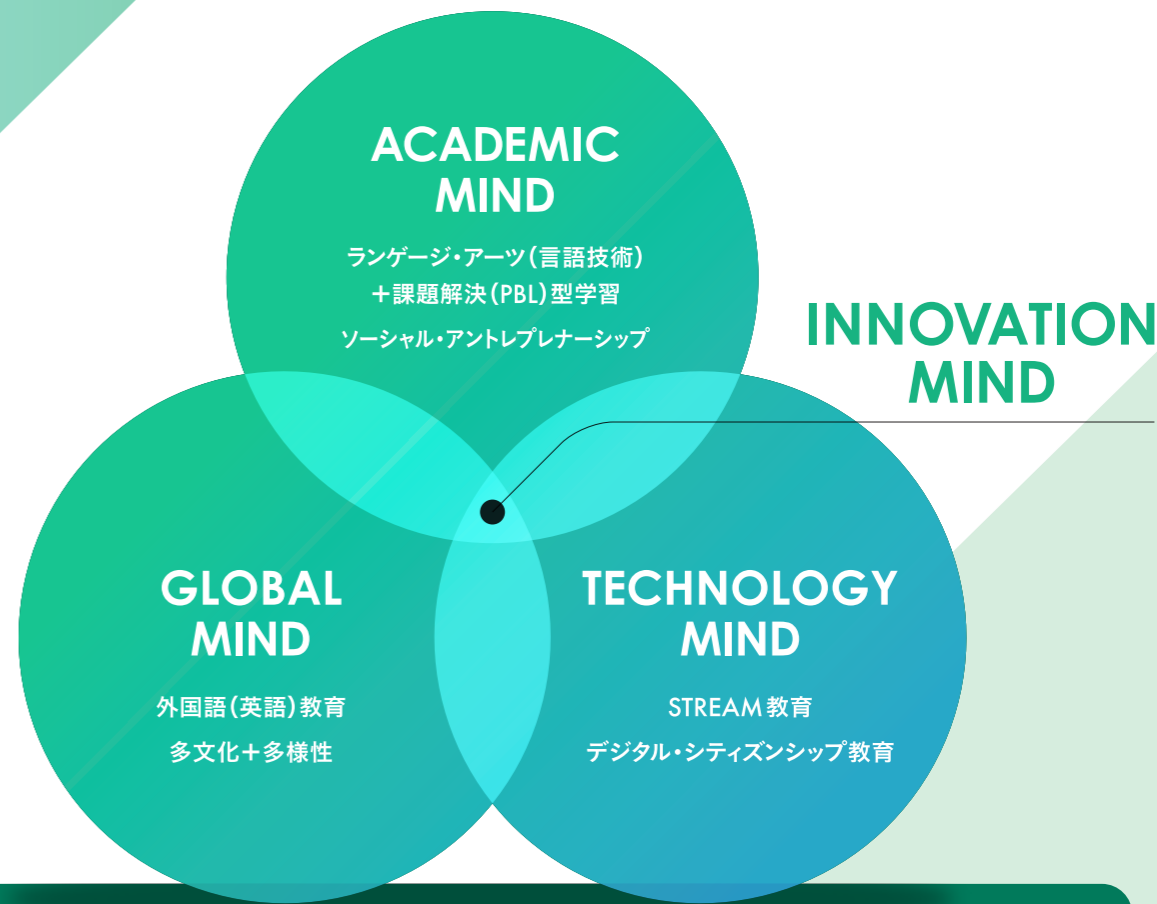
ノリタケ、TOTO、NGK、日本特殊陶業、森村商事など日本のセラミック産業の創始者として、また何よりも明治という時代に日米貿易に先鞭をつけた伝説的人物となっている森村市左衛門。「独立自営」の精神のもと、自らの屋敷の一角に幼稚園と小学校を創立しました。森村市左衛門の人生哲学であった「正直・親切・勤勉」は、そのまま森村学園の校訓として受け継がれています。



激動の時代を生き抜いた森村市左衛門の歴史



森村学園が歩んできた117年を振り返る



MORIMURA MIND ～自らを磨き、世を動かす力となる～

四季折々の花が咲き、鳥のさえずりが響く恵まれた環境の中で、生徒たちは日々のびのびと学校生活を送っています。森村学園では、生徒一人ひとりの個性を何よりも大切に、その中に秘められた無限の可能性を引き出すための教育活動に、積極的に取り組んでいます。学校生活の日常に散りばめられたグローバル教育、ソーシャル・アントレプレナーシップ教育、STREAM教育をはじめとする森村独自のプログラムにより、学びの場に活気をもたらしています。こうした学びを通して、生徒たちには何事にも前向きに挑戦する姿勢を育み、認知能力の向上はもちろんのこと、柔軟性や思いやり、自己を律する力、困難に立ち向かう勇気といった非認知能力を培ってほしいと願っています。

Mayumi Oka
岡 真由美 中等部・高等部 校長

創立者・森村市左衛門は、幕末から明治という激動の時代にあって、失敗を恐れず挑戦を重ね、社会への貢献を果たしました。その生き方を通して示された建学の精神「独立自営」と、校訓「正直・親切・勤勉」は、予測困難な現代社会を生きる私たちにとって、今なお重要な指針であり続けています。学園の大きな財産である創立者の精神を未来へとつないでいくため、これからの教育活動のさらなる充実にも努めてまいります。森村学園は、さまざまな学びを通して、生徒一人ひとりが自らの夢に向かって力強く歩みを進められるよう支えています。そして、「森村マインド」を育てる教育理念「人徳を備え、自らの力で人生を切り拓き、世界の力、社会の力となる人材の育成」に今後も力を尽くしてまいります。



MORIMURA MIND を 未来へつなぐ

ACADEMIC MIND



アカデミックマインド

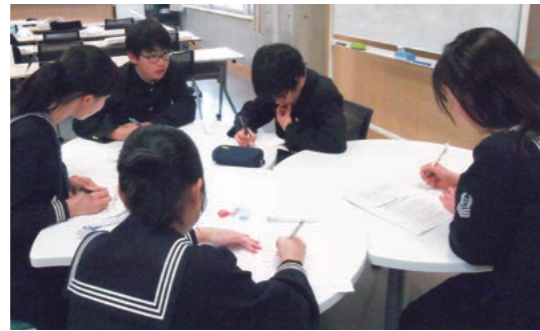
グローバル社会で活躍するための ランゲージ・アーツ(言語技術)教育を推進

近年ますます進むグローバル化。さまざまな人種・文化が交わっていくこれからの社会で「言葉によって自分をどう表現するか」は重要なスキルです。これは、森村学園の創立者・森村市左衛門が願った「世界の若者と伍する」という人材育成への想いにも通じています。ランゲージ・アーツでは、課題解決型の授業設計によって論理的・批判的思考力、表現力を高め、自ら問題を発見し、他者と協働しながら解決を目指すグローバルなアカデミックスキルを育てます。

森村学園が掲げる「日本版ランゲージ・アーツ」とは

私たちが目指すのは、日本版ランゲージ・アーツです。「他者への説得や自己の弁明」を主眼とするヨーロッパ発祥のランゲージ・アーツを、「他者への思いやり」を基調とする日本人のメンタリティーに配慮した独自の学びに改良しています。まずは、日本の表現文化の特性を認識し、その上で異文化の表現手法習得の必要性を理解するところから学びを本格化させます。この動機づけによって、日本人のメンタリティーを守りつつ、グローバルな世界においても自身の考えや意見を堂々と表現する力をつけたいという目標を生徒が自覚します。授業は、さまざまな対象の構造的な分析を行い、それを論法などのレトリックやパラグラフ、小論文形式での作文、ディベート、プレゼンテーションといった多様な形式でアウトプットする力を養います。すべての授業が論理的・分析的・創造的に思

考し発信するアクティブ・ラーニング形式で行われます。ここで培った確かな論証力こそ、「一生ものの財産」になると確信しています。



課題解決(PBL)型学習

ランゲージ・アーツ

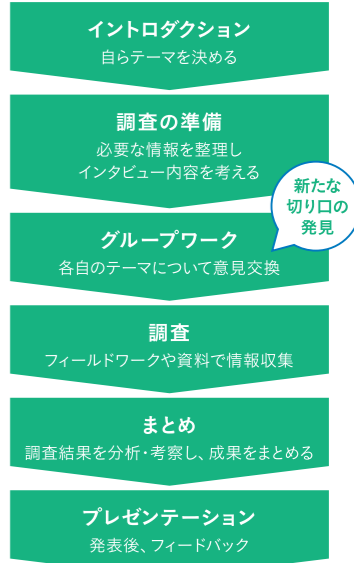
自らの路を模索していくための基盤をつくる 課題解決(PBL)型学習

中等部では「未知の世界を知ろう」をテーマに、社会での活躍を見据えたさまざまなプログラムを、PBL形式で実施しています。まず中1で行うのは、「創立者・森村市左衛門研究」。市左衛門の生き方を通して、世界で活躍するとはどういうことなのか、どのように新しい道を切り拓くのか、自らの路を模索していくための基盤をつくります。中2の「キャリア研究」では、各自興味のある職業について調査する過程で、グループワーク・発表を行います。中3では、「自由課題研究」において自ら問いを立て、課題解決にはどんな知識・調査が必要か、どのように発表したら理解してもらえるかを生徒主体で考えます。同様のテーマを研究する生徒同士でディスカッションし、新しい切り口を発見しながら、論文にまとめます。



中等部3年自由課題研究

授業の流れ(例)



新たな切り口の発見

ソーシャル・アントレプレナーシップで 拓く未来のキャリア

森村オリジナルのキャリア教育実践を目指し、長年にわたり中1が取り組んできた「創立者・森村市左衛門研究」をソーシャル・アントレプレナーシップの観点から再構築しています。100年以上前の起業家である創立者をソーシャル・アントレプレナーの体現者として捉えることで、生徒たちは過去と未来を結びつけながら、これからの社会で生きていく自分たちにとって必要な視点を学んでいきます。これを基盤に中2からの「キャリア研究」につなげていくことで、一人ひとりが「どう生きていくか」を考えます。



大学・社会人生活へとつながる 「知る」と「伝える」が身につく探究学習

高等部から始まる探究学習は、森村学園の建学の精神である「独立自営」、そして校訓でもある「正直・親切・勤勉」といった他者との連関性を尊重する考えとも結びつく学習です。中等部3年間のランゲージ・アーツ(言語技術)で得た学びをもとに、高1~高2の2年間において「探究day」を設置し学びを深めます。「探究day」では、問い立て、スケジューリング、フィール

ドワーク、実験、修正、レポート作成などに取り組み、生徒自らが立てた問いをそれぞれの視点で情報分析・比較・統合し、その成果を言語化して他者に伝える技術を養います。この2年間の探究学習によって、課題設定・解決能力だけでなく、主体性や実行力といった大学・社会人生活にも生きるスキルが身につきます。



ランゲージ・アーツで身につけた力をどんな場面で活用しましたか?

【年度末授業アンケートより】

パラグラフに沿って文章を書く力

おじいさんに道案内をしたとき (中1)

英検2級のライティング試験に挑戦したとき (中2)

自分の意見をまとめる力

部活動で試合の戦略を聞かれたとき (中1)

自由課題研究のプレゼンテーションをするとき (中3)

分析する力

映画を見て内容を家族に説明するとき (中2)

理科の実験結果をレポートにまとめるとき (中3)

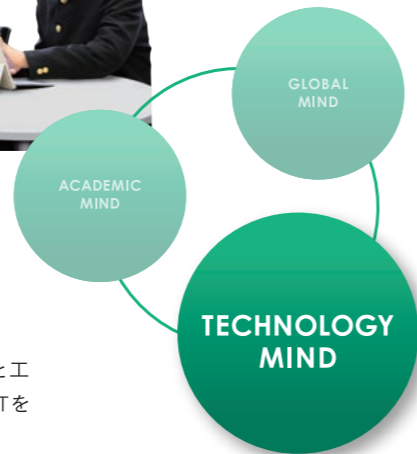
【卒業生アンケートより】

テレビ制作で番組の企画・立案をするとき (卒業生)

大学受験の小論文や大学のゼミでの討論 (卒業生)

就職活動時の自己分析や面接対策 (卒業生)

TECHNOLOGY MIND



テクノロジーマインド

ICT環境を活用し、社会に向き合いながら 次世代の学びと探究を深める

日常のコミュニケーションから授業、行事、課外活動など学校生活のあらゆる場面でICTの活用と工夫を活発に行っています。現在推進している本校独自のSTREAM教育などの新しい取り組みにICTを組み合わせることで生徒の探究心を育てています。

学びの可能性を広げ、 社会で生きる力をつける

発展的で高度な学びに触れることを目的としたSTREAM教育を推進し、全学年で導入している2in1PC(タブレット端末としてもノートパソコンとしても使用可能な端末)を積極的に活用しながら、より探究的な学びを深めています。さらに、生成AIについても、その活用の適切なタイミングや方法を生徒自身に考えさせつつ、教育活動に取り入れています。また、情報リテラシーの向上を図り、ICTや生成AIを適切に使いこなす力を養うことで、世界で通用する人材の育成を目指しています。



宇宙工学プロジェクト「素粒子検出器を作ろう!」(2025年度実施)

STREAM+ デジタル・シティズンシップ教育

情報モラルだけでなく デジタル・シティズンシップ教育

デジタル社会を歩む上で、被害者にも加害者にもならないために、情報モラルだけでなく、知識・技術と思いやりを持つことを入学翌日のオリエンテーションから身につけていきます。また、デジタル・シティズンシップ教育は、日頃の授業で繰り返し行うだけでなく外部講師を招いた出張授業等で定着を図ります。



STREAM教育

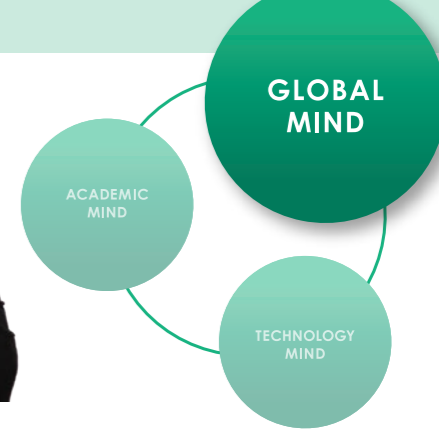
自然への好奇心を育て、科学的な探究心を深めることを目指してSTREAM教育(※)を推進しています。授業に加え、放課後や長期休暇中には、企業や研究機関と連携したワークショップやフィールドワークなど、多様な学習機会を設けています。数学的・理学的な視点を基盤に、技術や社会との関わりも踏まえて多角的に考える力を養い、探究活動を通して課題解決能力や創造力を養い、生徒の主体的で粘り強い学びの姿勢を育みます。

※Science科学・Technology技術・Roboticsロボット工学・Engineering工学・Art芸術/デザイン・Math数学など、これからの時代に必要とされる教育分野。



アステラス製薬とのワークショップ(2025年度実施)

GLOBAL MIND



グローバルマインド

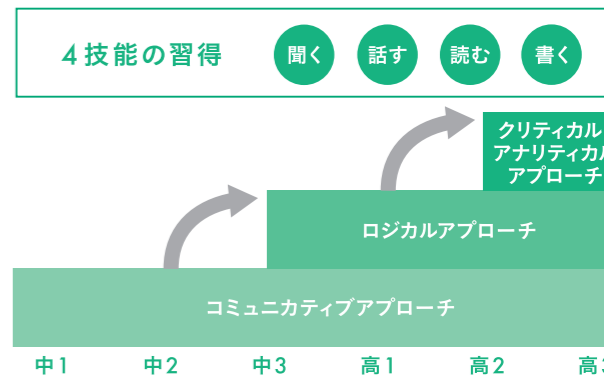
多様な言語と文化に触れ、世界を自らのフィールドとして活躍する土壌をつくる

一人ひとりが着実に学ぶ段階的な英語教育とともに、多言語・多文化講座や世界のさまざまな問題に目を向ける機会を創出しています。外国語の知識を得る以外に多様な価値観を理解し思慮をめぐらせることで、グローバル社会で活躍できる人材を育みます。

グローバル社会をたくましく生き抜く力を養う

森村学園での6年間の英語学習は、2年ずつ段階的にアプローチを発展させながら「聞く・話す・読む・書く」の4技能を習得します。初期段階の中1・中2では、コミュニケーションのツールとして、英語を使えるようになることを目指すコミュニケーションアプローチ。中3・高1からは、より論理的に英語で考え、意見を述べる力の獲得を目指すロジカルアプローチ。高2・高3の最終段階では、批判的・分析的に物事を捉え、自らの考えを口頭で発表したり文章にまとめたりするなど、創造的で知的な英語の活用を目指すクリティカル・アナリティカルアプローチへと発展します。ランゲージ・アーツで学ぶ内容と合わせ、英語で論理的に自分の考えを述べられるようになります。

6年間の英語教育「LIVING ENGLISH」



外国語(英語)教育

ルート別授業

インプットとアウトプットを繰り返し、基礎から着実に学ぶ本校スタンダードのルートと、生活言語として使用してきた英語を学習言語へと発展させることを目的とするルートの2つから、自分に合った学習ルートを選択できます。



実践的な言語活動

中等部ではネイティブ教員による授業のみならず、通常の授業もクラスを分割して少人数で実施。校内スピーチコンテストやレクレーションコンテスト、海外研修などを通して実践的に英語を使う経験を積みます。



英検®(実用英語技能検定)

学年ごとに合格目標を設定して英語力を底上げ。中等部在学中に準2級、高等部卒業までに準1級合格を目指し、事前の対策講座や二次試験対策の個別指導(希望制)でサポートします。



多言語・多文化講座(希望制)

多様な価値観に触れ、世界を広げることをねらいとし、多彩な講座を開講。言語の他にも、さまざまな文化や異なる価値観を知り、多角的に異文化理解を深めています。

講座・プログラム例

- スペイン語 ●ポルトガル語 ●韓国語 ●インド文化講座 ●モンゴル文化講座
- 韓国の高校生とのオンライン交流会 ●カタール日本人学校とのオンラインプロジェクト
- 国際系大学との連携講座 ●世界の窓(留学経験者や海外大学進学者との情報交換会)



留学生受け入れプログラム

本校では、JICAとの連携により、中南米から来日した日系高校生の受け入れおよび学校交流プログラムを実施しています。日々の交流や共同活動を通して、多様な文化や価値観に触れ、異文化理解を深めることができます。また、2026年度にはタイとの新たな国際交流プログラムも予定しています。



多文化 + 多様性

US Dual Diploma Program(希望制)

US Dual Diploma Programは、本校の通常の授業に加え、放課後や週末にアメリカの名門高校の授業をオンライン受講し、卒業時に日米2つの卒業証書を手にするというプログラムです。履修科目はアカデミックイングリッシュや美術・音楽鑑賞教育、海洋学、世界史など。日本に居ながらにして高度な英語力が身につくだけでなく、世界視点で学ぶことができるのも魅力です。本プログラム導入以来23名が修了しています。(2026年4月末時点)

プログラム修了後のメリット

- 1 世界各国ハイランキングのパートナーシップ40大学への推薦入学 (TOEFL / IELTS / SAT / ACT免除) ※一定の条件あり
- 2 アメリカ大学給付型奨学金の受給資格の取得
- 3 スーパーグローバル大学・国内ハイレベル大学への実力養成 (日米両国の成績表・卓越したPortfolioで総合型選抜対策)
- 4 一部の国内大学において、「帰国子女枠」での受験が可能



海外研修

国際力(異文化理解・アイデンティティ)、国際コミュニケーション力(外国語力)、人間力(生きる力・自立心)の育成を目指して、それまで学び、身につけたことをさまざまな国で試し、異文化に触れるプログラムです。世界情勢の変化を受け、多様な文化や価値観に触れながら、創立者が目指した「世界に伍す若者の育成」を具現化します。

2026年度実施予定プログラム

オーストラリア修学旅行	中等部3年 / 全員
カナダ研修	中等部2年～高等部2年 / 希望制
ターム留学(オーストラリア)	高等部1年・2年 / 選抜制

ターム留学は公益財団法人森村豊明会および同窓会から「留学奨励金」が支給されます。



その他のプログラム

多文化ごはん

カフェテリアとのコラボレーション企画として、世界のさまざまな地域の料理を特別メニューとして提供。「食」の視点から多文化に触れます。



シンガポールチキンライス

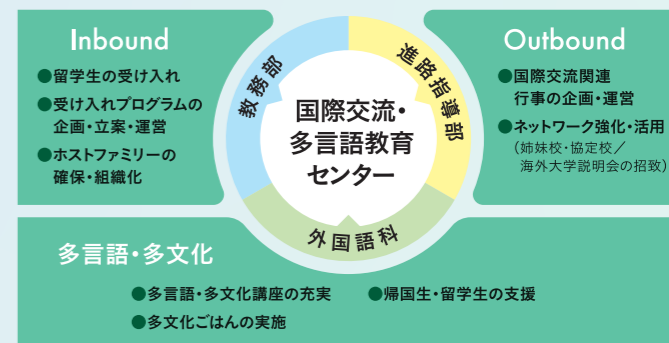
横浜国立大学×JICA連携ワークショップ

教育格差や経済格差などをテーマとしたワークショップや大学生との座談会に参加。(2023年度～2025年度実施)

森村学園のグローバルマインドを牽引する

国際交流・多言語教育センター

本校では「国際交流・多言語教育センター」が中心となり、グローバル教育を推進しています。当センターは、本校の国際交流関連プログラムを一括して企画・運営する組織です。語学研修、留学生の送り出し・受け入れはもちろん、日常生活の中に多文化が存在する空間をつくり出し、多角的な価値観に触れることを目指したプログラムを運営しています。



森村学園が目指す「世界に伍す若者像」

- 1 国内外のさまざまな文化や多様な意見を尊重し、多角的に物事を考える生徒
- 2 自他のアイデンティティを尊重できる生徒
- 3 積極的に多くの人々とコミュニケーションを取る生徒
- 4 時にハードトークもいとわない、広い見識と論理力を持った生徒
- 5 世界の発展に主体的に寄与し、幸福な生活を実現することのできる生徒



TOPICS | 海外大学進学へのサポート 海外大学進学協定校推薦制度(UPAS)に加盟!

海外の大学が学内の多様性を高めるために優秀な日本人学生を受け入れる目的で設けた特別制度です。各協定大学が設ける成績基準を満たし、学校推薦を受けることで出願が可能になります。奨学金制度(返金義務なし)を適用する大学もあり、各大学の受給基準を満たした上で出願することで、確実に奨学生として指定の大学に入学することができます。

協定大学例(協定校約100校) ※一部抜粋

- アメリカ** American University (アメリカン大学) / Gonzaga University (ゴンザガ大学) / The University of Utah (ユタ大学) / Oregon State University (オレゴン州立大学) / San Francisco State University (サンフランシスコ州立大学) / University of Illinois at Chicago (イリノイ大学シカゴ校)
- イギリス** City, University of London (ロンドン大学シティ校) / The University of Manchester (マンチェスター大学)
- カナダ** Simon Fraser University (サイモンフレイザー大学) / University of Manitoba (マニトバ大学)
- オーストラリア** The University of Sydney (シドニー大学 ファウンデーション) / University of Wollongong (ウーロンゴン大学)

※そのほか、本校はThe University of New South Wales Foundation Studies Program Kyoto Campus (AUS)、Sunway University (MY)、Taylor's University (MY)、University of Nottingham Malaysia (MY)、Monash University Malaysia (MY)、INTI International University & Colleges (MY)と指定校推薦枠を含む連携協定を締結しています。

6年間の教育

大学進学とその後の未来を見据え、
6年間の学びを活かす横断的な学習プログラムを設計しています。

3つの教育ステージ

6年間で3つのステージに分け、先のステージを見据えて「今」必要な学習を徹底して指導します。

中等部1年 中等部2年 中等部3年 高等部1年 高等部2年 高等部3年

基礎学力の育成



国語・数学・英語等では頻繁に小テストを実施。定期的な復習・家庭学習を促して学習習慣を身につけ、6年間の学びの土台をつくります。

応用力の育成



中1・中2で培った基礎学力をもとに、学びを発展させ深めていきます。中3からは徐々に高校の授業の先取り学習が始まります。

実践力の育成



高2から「文系コース」と「理系コース」に分かれます。高3では、志望大学合格に向けて、演習授業で実践力を強化していきます。

イノベーションマインド

自らの成長を振り返りながら、授業や課外活動などさまざまな学びの場を通して「挑戦・活躍・貢献」するマインドを育みます。

P.01~

ACADEMIC MIND	「ランゲージ・アーツ」と「課題解決(PBL)型学習」の両輪に加え、ソーシャル・アントレプレナーシップ教育によって、グローバル社会で通用する論理的・批判的思考力を身につけます。	P.05
TECHNOLOGY MIND	STREAM教育を推進し、2in1PCや生成AIなどを適切に活用しながら、探究的な学びを深めています。	P.07
GLOBAL MIND	多彩な多言語・多文化講座や国際交流イベントなどを通して、日常的に異文化や多様な価値観に触れる機会を増やします。	P.08

教科教育

6年間を見通した授業計画で、希望の進路を実現できる学力を身につけます。

P.13~

国語	中等部では読解(国語I)と文法(国語II)の授業を分け、基礎力を養います。中3からは高校の現代文や古典の内容を含めて学習します。
数学	中学・高校の学年・分野を融合。基礎から応用まで理解しやすく学べる「体系数学」を教科書に採用しています。
社会	中1は日本地理・世界地理、中2は歴史、中3で近現代史・公民を学びます。
理科	中1～中3は上半期に化学(理科1)・生物(理科2)を、下半期に物理(理科1)・地学(理科2)を学びます。
指名補習(3年間)	主に国・数・英において成績によって対象者を指名し、長期休暇中やその都度行う講座で苦手を克服します。
希望補習	各教科が設定した講座から、それぞれの目的に合わせて自由に選択可能。

文理選択

高2進級時に文理選択を行います。目指す進路、受験する科目に合わせて柔軟に選択することが可能です。

芸術鑑賞

中等部では和太鼓や狂言、寄席などの日本文化を、高等部ではミュージカルやバレエなどの西洋文化を鑑賞します。



キャリア教育

目指す進路と進学先を具現化します。

進路指導	自ら目指す「路」を明確にする手助けをします。	P.15
進学指導	具体的な進学先を設定、志望校合格のために全力でサポートします。	P.16

行事

行事は人を育てます。研修旅行や校内行事を通じて多様な世界に触れ、主体性を持って行動する姿勢が身につきます。

P.19~



富士・箱根研修旅行



イングリッシュキャンプ



オーストラリア修学旅行



広島研修旅行



京都・奈良修学旅行

「独立自営」の精神で人生を切り拓ける人へ

国語

自らの考えを

適切な言葉で表現する力をつける

言葉を使うときに大切な「考える力」「読み味わう力」「書く・創る力」「話す・聞く力」「言語知識の力」という5つの力を育みます。中1から中3では「心の大地に種をまく5分間」を実施し、近代から現代までのさまざまな小説や詩歌、エッセイなど幅広いジャンルの文学表現を味わい、読解することで豊かな語彙と表現力を自分のものにします。

社会

一生ものの

知的好奇心を養う

中1の段階では、まず、社会科を好きになることからスタート。学んだことと実社会のつながりを、頭と心と五感を使って考え、学ぶ意欲を引き出します。さらに教科書の内容をベースにしたオリジナルプリントを全授業で使用し、幅広いテーマを扱うことも大きな特徴です。正解のないあらゆる問題に対して、自分で考える力を養います。



数学

Build up Mathで

論理的に考察する力を育む

毎日の学習習慣を定着させるために、日々の課題提出を通じて、途中式の書き方や直しの大切さを指導します。中2までに中学の学習内容を終え、中3の1学期から高校の数学がスタートします。高1では習熟度別授業を実施。粘り強く考える力と、論理的に考え判断する力を養います。



保健体育

心と体を鍛える

生涯にわたって心と体を健康に保つことができる知識と実践力を身につけます。男女共修授業の実践を通して相互理解と相手の立場を尊重して関わるスキルを養います。中等部では、さまざまな種目を学習することで身体機能の成長に役立てる取り組みを行い、それを基礎として高等部2・3年生からは種目選択制の授業を多く取り入れてスポーツの楽しさを学びます。



イノベーションマインドを支える
教科学習

理科

実験ベース「PRACTICAL SCIENCE」で科学的思考力を育てる

生徒の「なぜ」「どうして」を大切に、日常を意識した実験を通して生徒の科学的関心を高めます。充実した設備で、教科書にないオリジナルの実験も交えた数多くの実験に取り組み、中等部のうちから高校の学習内容も取り入れながら難しい実験にもチャレンジします。



技術家庭

生活を工夫し

創造する資質と能力を育成する

各領域で実習を数多く取り入れ、よりよい生活を送るために必要な知識や技術を習得し、実生活におけるいろいろな課題を解決する方法を学びます。実習はチームティーチングで行っており、生徒一人ひとりにさみ細やかな実技の指導をしています。高等部では、より実践的・体験的な学習を行い、社会との関連から広く生活のあり方を考えるきっかけをつくっています。



書道

温故知新

伝統を受け継ぎ自分のものにする力を育てる

中3までの書写の学習を基礎に、高等部では芸術としての書の表現に挑みます。書道史に残る古典・名筆の美や技法に触れ、自己表現に活かします。古くからの伝統を積極的に受け継ぎ、創意工夫を加えて新しい魅力的な作品をつくる過程の中で、温故知新の精神を育みます。



美術

触って・動かして、

ものづくりから試行錯誤する力を育てる

中等部ではさまざまな表現方法や技法を体験します。また、古今東西の芸術作品を鑑賞することによって、多様な視点や価値観に触れます。高等部では選択授業でより専門的に学び、コンセプトを重視した作品づくりを促します。自分の想いを実現していくことの難しさや面白さを実感しながら、よりよいものを目指して工夫していく心を育てます。



音楽

豊かな表現力を身につける

中等部では楽曲分析を行い、作詞・作曲の意図を学んだ上で歌唱、鑑賞を行います。また、中1では箏を体験。正しい姿勢・奏法などを身につけ、演奏を楽しみます。高等部でもいろいろなジャンルの作品にたくさん触れ、多種多様な表現方法を学びます。音楽は、他者とのコミュニケーションの大切さなどを学びながら、感受性や協調性、豊かな人間性を育む大切な教育です。





教育活動の最適化と夢に近づくための徹底したサポート

「未知の世界」に目を向け、自らの夢の方向性を探る「進路指導」。その夢を実現させるために必要な知見を広げ、学力を向上させる「進学指導」。それら2つは車の両輪のごとく、生徒一人ひとりの希望を叶える役割を果たします。

進路指導

進学指導

中等部

1年

2年

3年

高等部

1年

2年

3年

個別の
アプローチ

ポートフォリオ 中1入学当初から高3卒業の日まで、試験・行事の記録、調べ学習、探究活動など個人の成長をファイリングし、6年間の成長を目に見える形で残していきます。

生徒面談

学習の記録

ベネッセ学力推移調査(年3回) / ベネッセ総合学力調査(年1回)

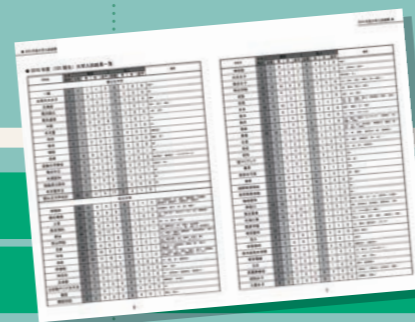


ベネッセスタディーサポート(年1回) / 河合塾全国統一模試(年1回)

ベネッセ総合学カテスト(年3回)

ベネッセ共通テスト
模試(年1回)

ベネッセ総合学力記述模試(2回)、
ベネッセ大学入学共通テスト模試
(1回)、駿台ベネッセ共通テスト
模試(2回)・記述模試(1回)、駿台
ブレ共通テスト(1回)



6年間を通した
具体的な学習計画で
学びを結びつける

シラバス 「シラバス」とは、夢を叶えるための6年間の具体的な学習計画です。計画的に学習を進める上で、授業内容や到達目標を確認しながら、頭の中で常に「これまで何を学んできたのか?」「今、なぜこれを学んでいるのか?」「これから何を学ぶのか?」というイメージを描きます。

進路の手引き 大学入試に関する基礎知識や受験のポイントだけでなく、卒業生の体験や参考データを掲載しています。

自分の世界を広げ、
興味の方向性を探るための
基盤をつくる

「高い志」を育む創業者研究

創業者・森村市左衛門の人生哲学や功績を学び、その生き方から建学の精神「独立自営」や校訓である「正直・親切・勤勉」の真の意味について探究します。学んだことは一人ひとりがレポートや新聞にまとめて発表し、主体的な学びへと高めていきます。



キャリア研究

講演会や各自の調査、インタビュー、職場体験などを通じて興味のある職業について学び、レポートにまとめてプレゼンテーションを行います。進路についてのイメージをふくらませ、今後どのような学びが必要か考えるきっかけとなります。



**文化比較研究
(オーストラリア修学旅行)**

授業や校外行事などを通じて日本文化への理解を深めます。また、オーストラリア修学旅行を通して見聞を広め、海外と日本の文化を比較することで多様性を学びます。



自由課題研究

各自で興味のある分野を追究し、レポートを作成。自ら問いを立て、ひとつの事柄を突き詰める粘り強さを身につけます。レポート作成の過程で、ランゲージ・アーツで学んだことが大きく生きてきます。

社会に生きる
力をつける

探究学習 中等部3年間の進路指導やランゲージ・アーツで得た学びを基盤に高1・高2の2年間で「探究day」を設置し学びを深めます。

進路の日 1日を通して大学の出前授業や説明会を実施し、大学で学びたいことや受験について具体的にイメージします。

オープンキャンパスレポート 夏休みには、各大学で開催されるオープンキャンパスに参加し、レポートを作成。公開講座などの受講を通じて自分の追究したい学問がより明確になります。

大学受験を語る会 大学に合格したばかりの高3生が、後輩たちに向けて実体験を語ります。

文理選択 高1の間に夢の実現に必要な教科を検討し、文理を選択。高2から文理コース別授業がスタートします。

2コマ連続授業 高2になると、2コマ連続の110分授業が増えます。大学受験問題を解き、その解説をしっかり受けます。



未来をイメージし
必要な
視野と
学びを
強化する

徹底した大学受験対策 高3では、各教科で難関大学合格に向けた過去問題演習などを行い、大学入試に向けて実践的な力を身につけます。

未来へのステップ // 希望する進路へ

TOPICS

医系総合大学「昭和医科大学」、
「日本女子大学」、「北里大学」との連携

特別協定校としての協定を締結し、今後の高大連携の実現を図るために、さまざまな相互交流を実施しています。

連携のポイント

- ・大学教育の一端を理解させるプログラムの提供
- ・高等部の正規授業、課外授業等に対する支援
- ・双方に有益な教育活動等の展開
- ・受験希望者に対する特別推薦枠※の適用
- ※昭和医科大学・・・医学部、薬学部、歯学部など
- ※日本女子大学・・・家政学部、建築デザイン学部など

海外大学との連携
→P.10



大学入試結果

6年間の学びが「夢の入り口」へ導く

森村学園は、生徒の希望や適性を第一とし、その先の社会生活も見据えたきめ細やかな進路指導、進学指導を行っています。この春卒業した生徒たちは、6年間の学校生活の中で仲間と支え合いながら自らの「夢の入り口」に立ちました。森村学園では大学入学共通テストをはじめとする一般選抜だけでなく、昨今増加傾向にある学校推薦型、総合型選抜などのさまざまな入試制度の変化にも対応しています。

TOPICS (現役合格)

京都大学 2名 理学部／薬学部	一橋大学 2名 商学部／社会学部	徳島大学 1名 医学部	国際教養大学 1名 国際教養学部
------------------------------	-------------------------------	--------------------------	-------------------------------

大学入試合格者数 ()内は既卒生数

大学入試結果はホームページでより詳細な情報をご紹介します。



国公立大学

2026		2025		2024	
一橋大学	2	東京外国語大学	1	一橋大学	1
東京学芸大学	1	東京農工大学	1	東京外国語大学	1
横浜国立大学	2	東京海洋大学	1	お茶の水女子大学	1
北海道大学	3(1)	横浜国立大学	2	北海道大学	4(2)
北見工業大学	1(1)	北海道大学	3	信州大学	1
筑波大学	2(1)	東北大学	1	千葉大学	1
信州大学	1(1)	筑波大学	2	大阪大学	1(1)
名古屋大学	1(1)	千葉大学	1	和歌山大学	1(1)
京都大学	2	宇都宮大学	1	山口大学	1(1)
岡山大学	1	金沢大学	1	東京都立大学	4
徳島大学	1	信州大学	1(1)	横浜市立大学	3
鳴門教育大学	1	愛媛大学	1(1)	高崎経済大学	1(1)
鹿児島大学	2(2)	九州大学	1	高知工科大学	1
宮崎大学	1(1)	横浜市立大学	2	沖縄県立芸術大学	1
東京都立大学	2	公立諏訪東京理科大学	2	合計	22(6)
横浜市立大学	1	高崎経済大学	1		
神奈川県立保健福祉大学	1	合計	22(2)		
国際教養大学	1				
愛知県立芸術大学	1				
合計	27(8)				

私立大学

	2026	2025	2024
早稲田大学	9(2)	11(2)	15(1)
慶應義塾大学	16(4)	7(1)	14(2)
上智大学	5	10	12
東京理科大学	23(4)	16	14(3)
早慶上理合計	53(10)	44(3)	55(6)
明治大学	34(7)	36(4)	33(2)
青山学院大学	30(3)	24(1)	19
立教大学	8(2)	13(3)	21
中央大学	20(5)	11(2)	18(2)
法政大学	23(5)	24(5)	24(4)
学習院大学	5(1)	5(1)	11
GMARCH合計	120(23)	113(16)	126(8)

医学部医学科

2026		2025		2024	
徳島大学	1	金沢大学	1	山口大学	1(1)
昭和医科大学*	1	愛媛大学	1(1)	昭和大学*	2(1)
北里大学	1	北里大学	3(2)	東京女子医科大学	1
杏林大学	1(1)	昭和医科大学*	2	国際医療福祉大学	1(1)
帝京大学	1(1)	聖マリアンナ医科大学	2	埼玉医科大学	1(1)
東京女子医科大学	2(2)	東邦大学	1	岩手医科大学	1(1)
東北医科薬科大学	1(1)	国際医療福祉大学	1	合計	7(5)
岩手医科大学	1(1)	合計	11(3)		
獨協医科大学	1(1)				
合計	10(7)				

過去5年間の海外大学合格実績

University of the Arts London(UK)
Arts University Bournemouth(UK)
Cleveland State University(US)
The University of Utah(US)
University of Illinois at Chicago(US)
Florida International University(US)
University at Buffalo, The State University of New York(US)
Temple University, Japan Campus(US)
Taylor's University(MY)
Truman State University(US)
University of Wollongong in Dubai(UAE)
Charles University(CZ)
The University of Melbourne(AUS)
The University of New South Wales Foundation Studies Program

[卒業生数] 2025年度 162名 / 2024年度 176名 / 2023年度 164名
*2025年 昭和大学は昭和医科大学に校名を変更しています。



卒業生
合格体験記

新たなステップへ

森村で見つけた夢への第一歩を踏み出した2025年度の卒業生たちに、志望校合格までの道のりを振り返ってもらいました。

進学先
京都大学 理学部

タトル・グレース・恵さん

私は中高6年間、塾には行かず学校での学習に力を入れていました。毎回の定期試験に全力で取り組み、その積み重ねから自分なりの勉強法や集中力を培いました。私を合格に導いてくれたのは、勉強と真摯に向き合ってきた6年間と、それを可能にくださった先生方の的確な指導、そして常に励まし合ってきた同級生たちの存在にほかなりません。

進学先
一橋大学 商学部

野口岳人さん

私は予備校には通わず、日々の授業を軸に基礎を徹底し、学習法も自分で工夫をしながら知識の整理と反復を意識して勉強を続けました。個性豊かで素敵な先生方の質の高い授業を通じて学びを楽しむ姿勢を身につけられたことは、受験はもちろん、これからの人生にも役立つ指針になったと強く感じています。森村学園で得た経験が受験本番での自信となり、志望校合格につながりました。

進学先
慶應義塾大学 理工学部

瀬上奏一さん

僕は、高3の12月から夜11時に寝て朝6時に起きることを心掛けていました。受験本番までその習慣が続けられるか不安があったものの、朝7時30分の開門とともに利用できる学校の自習室があったおかげで、継続することができました。辛いことがあったときも同級生の励ましが、わからない問題があったときもすぐに先生方に質問できる環境があり、受験を通して森村学園のありがたみを改めて知ることができました。

進学先
上智大学 総合人間科学部

干場優花さん

受験期は私にとって人生の中で最も辛い期間でした。しかし、学校の先生方に過去問の添削をしていただいたり、同級生とともに面接練習に励んだりする中で、多くの支えを受け、無事に第一志望に合格することができました。中高6年間で積み重ねてきた努力が今回の合格につながったと強く感じるとともに、この経験を通して自分自身の大きな成長を実感することができました。

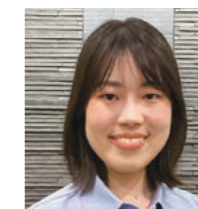


学園ホームページにて、卒業生インタビュー公開中

希望の路で活躍する “森村生”

希望の路に羽ばたいていった卒業生たちに、森村らしさを感じるエピソードや、社会に出てから活きている森村での学びなどについてインタビューしました。

卒業生インタビューは
こちらからご覧ください



温かいサポートがあるからこそ、新しい世界にチャレンジができる。
松永 季実果さん(慶應義塾大学 理工学部化学科卒)

環境省
総合職理工系職員



自らの目を見て学んだ経験が、グローバルな視点で研究に携わる礎に。
沼澤 宙朗さん(京都大学大学院物理学博士課程修了)

東京大学
物性研究所 助教

富士・箱根研修旅行(中等部1年)
初めての宿泊行事で仲間との交流を深め、自然の中でさまざまなアクティビティに取り組みます。

イングリッシュキャンプ(中等部2年)
2泊3日の英語漬けキャンプ。ネイティブスピーカーの教員とさまざまなアクティビティを行います。

広島研修旅行(高等部1年)
平和学習をメインテーマとした研修旅行。フィールドワークなどを通して探究活動にも取り組みます。

オーストラリア修学旅行(中等部3年)
ホームステイや現地の学校訪問など他国文化に触れ、ここでしかできない体験に溢れた5泊7日を過ごします。

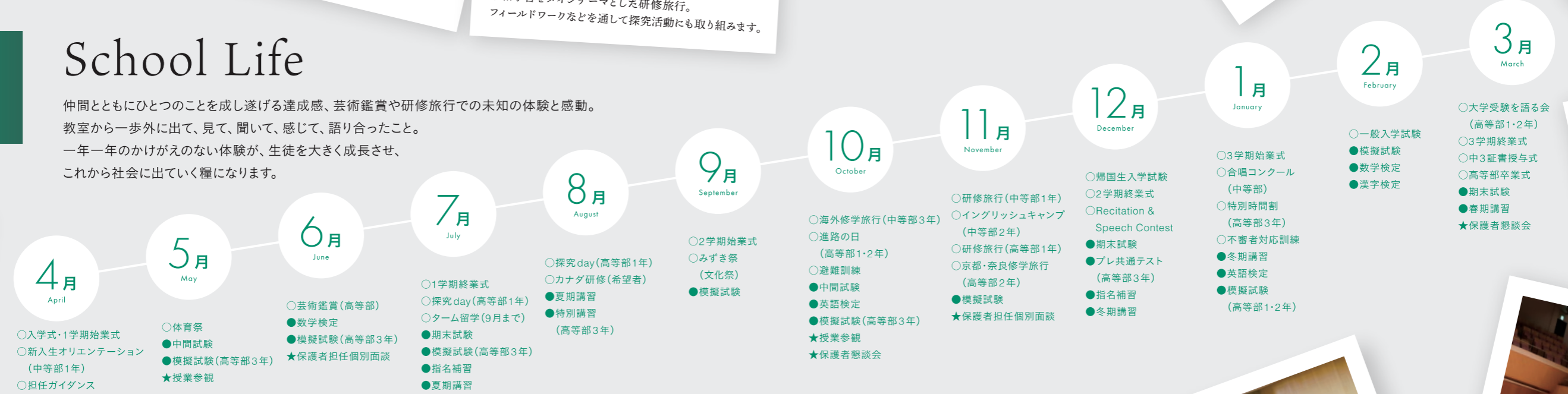
体育祭
中1から高3までが団結して、優勝を目指して戦います。



学校行事

School Life

仲間とともにひとつのことを成し遂げる達成感、芸術鑑賞や研修旅行での未知の体験と感動。教室から一歩外に出て、見て、聞いて、感じて、語り合ったこと。一年一年のかけがえのない体験が、生徒を大きく成長させ、これから社会に出ていく糧になります。



森村学園の1日 勉強も部活動も全力で

自然豊かな落ち着いた学び舎で、今日も1日が始まります。クラスメイトと刺激し合いながら学び、放課後は部活動へ。

8:30 までに登校

元氣な挨拶から1日が始まります。

8:30 HR・朝読

朝のホームルーム後の約10分間、心を静め集中して読書に取り組みます。

8:50 1校時

充実した設備と環境で、勉強に集中。クラスメイトと刺激し合って学びます。

11:40 休み時間

授業の合間に、気軽に先生に質問。オープンな職員室に生徒が集まります。

12:40 昼食

広いカフェテリアや教室で、昼食。日替わり定食も楽しみのひとつです。

14:20 6校時

1日の最後の授業まで、集中力を保って臨みます。

15:45 部活動

放課後は、やりたいことに思いっきり打ち込みます。

18:00 完全下校

時間どおりに部活動を終え、下校します。

みずき祭(文化祭)

クラス・部活動・有志団体などが準備から主体的に行い、2日間のイベントを全力で創りあげます。

合唱コンクール(中等部)

心をひとつに、1年間を通じて築いた団結力を発揮します。



野球部

【活動日】
中等部 月・火・土
高等部 月・火・木・土
【活動場所】グラウンド



サッカー部

【活動日】月・火・金・土
【活動場所】グラウンド



バレーボール部

【活動日】
中等部女子(男子) 月(男)・火(女)・金・土
高等部女子(男子) 月(男)・火(女)・木・土
※月・火は変更になる日もある
【活動場所】高等部体育館



硬式テニス部

【活動日】
中等部男子 月・火・金・土
中等部女子 月・火・土
高等部男子 火・木・金・土
高等部女子 月・木・金
【活動場所】テニスコート
(オムニコート・クレート)



バスケットボール部

【活動日】
中等部男子 火・金・土
中等部女子 月・金・土
高等部男子 火・木・土
高等部女子 月・金・土
【活動場所】中等部体育館



陸上競技部

【活動日】
中等部 月・火・金・土
高等部 月・火・木・金・土のうち4日
【活動場所】グラウンド



バドミントン部

【活動日】
中等部男子 月・金・土
中等部女子 月・金・土
高等部男女 火・木・土
【活動場所】初等部体育館



ゴルフ部

【活動日】
中等部 月・火・(土)
高等部 火・金・(土)
【活動場所】学園内 および
モダンゴルフガーデン



部活動

学年をこえて 好きなことに熱中!

森村学園の部活動には多彩なジャンルがあり、
多くの生徒が参加しています。
中高の6年間の中で、先輩・後輩の深い絆や関わりが生まれ、
人間関係を構築する力が養われます。
ともに夢中になれる仲間や、かけがえのない日々、
そして心から打ち込める何かに、きっと出会えることでしょう。

※活動日は変更されることもあります。



剣道部

【活動日】火・金・土
【活動場所】幼稚園ホール



空手道部

【活動日】
中等部 月・土
高等部 月・木・土
【活動場所】幼稚園ホール



新体操部

【活動日】
中等部女子 月・火・金・土
高等部女子 月・火・(木)・金・土
【活動場所】高等部体育館



管弦楽部

【活動日】
中等部 月・火・金・土
高等部 月・火・(木)・金・土
【活動場所】3F 第2音楽室



合唱部

【活動日】火・金
【活動場所】3F 第1音楽室



E・S・S部(英語部)

【活動日】月・金
(行事・発表会前は・火・木・土 木は高のみ)
【活動場所】1F 101教室



演劇部

【活動日】火・金
【活動場所】3F ホール



美術部

【活動日】月・火・金
【活動場所】中等部 3F 第1美術室
高等部 3F 第2美術室



科学部

【活動日】火・金
【活動場所】2F 第1理科室



囲碁将棋部

【活動日】月・金
【活動場所】2F 201教室



料理部(高等部のみ)

【活動日】金
【活動場所】B1F 第2調理室



華道部

【活動日】火
【活動場所】3F 書道室



茶道部

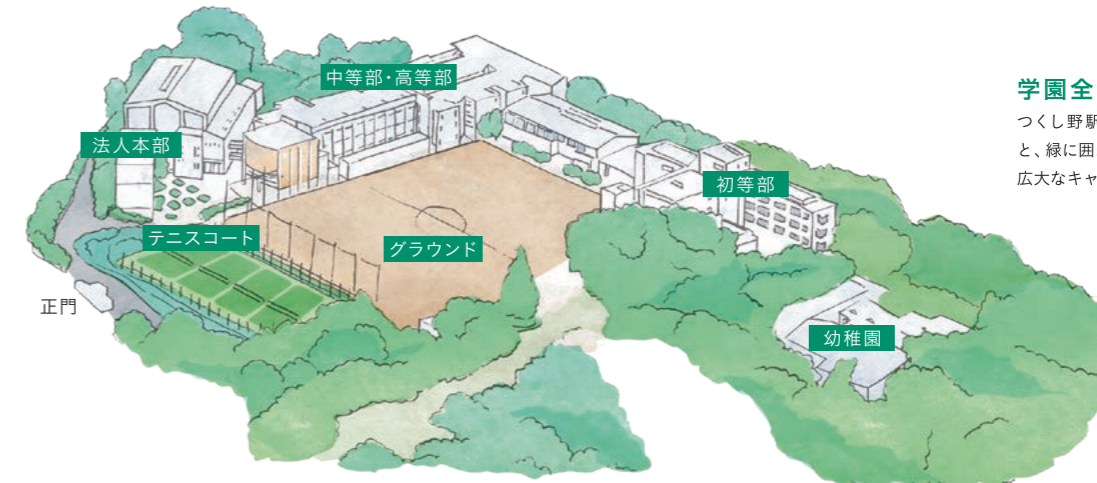
【活動日】
中等部 月
高等部 木
【活動場所】3F 茶室



施設紹介

人を育む環境と 成長を支える施設

学園の敷地には豊かな緑が広がっています。
その包み込むようなやさしさが、生徒たちの成長を促してくれます。
さまざまな樹木が自生する自然林が教えてくれる四季のうつろい、美しさ。
清々しく澄み渡る空気。こうした環境が、感性を育てていきます。



学園全景

つくし野駅からほど近い正門をくぐると、緑に囲まれた、東京ドーム1.8個分の広大なキャンパスが広がります。



エントランス

高等部の生徒・教職員、お客様用の出入り口です。登下校時の混雑を緩和するため、中等部の生徒の玄関は別に設けられています。



ギャラリー

校舎の中央部に位置し、地下1階から地上3階まで吹き抜けになっています。各階の両サイドには、特別教室が配置されています。



理科室

生徒の知的好奇心をくすぐる資料や実験機器が豊富に取り揃えられ、5つの理科室でさまざまな実習に対応できます。



カフェテリア

昼は食堂、放課後は生徒たちの憩いの場となります。椅子の色によって中等部生と高等部生のすみわけをしています。



テニスコート

キャンパス内に砂入り人工芝のテニスコートが4面あります。周囲は桜やハナミズキなどのさまざまな季節の草木に囲まれています。



自習室

朝の7時30分から多くの生徒が利用しています。各大学の資料や過去の入試問題集なども完備しています。



ホール

1学年の生徒がゆとりを持って集まることのできる、約300席のホール。学年集会や講演会、音楽会、保護者懇談会、学校説明会等で活用します。



音楽室

2つある音楽室には6つの練習室があり、そのすべてにピアノが設置されています。



図書館

約6万冊の蔵書を誇り、バリエーションの豊富さも自慢です。自習や授業で利用できるスペースも設けられています。



教室

大きな窓からやさしい光がふりそそぐ、明るく開放的な教室。プロジェクターや音響設備、Wi-Fiも完備しています。



フューチャールーム

ホワイトボードやプロジェクター、可動式の机と椅子を備えており、ディスカッションに適した環境を用意しています。

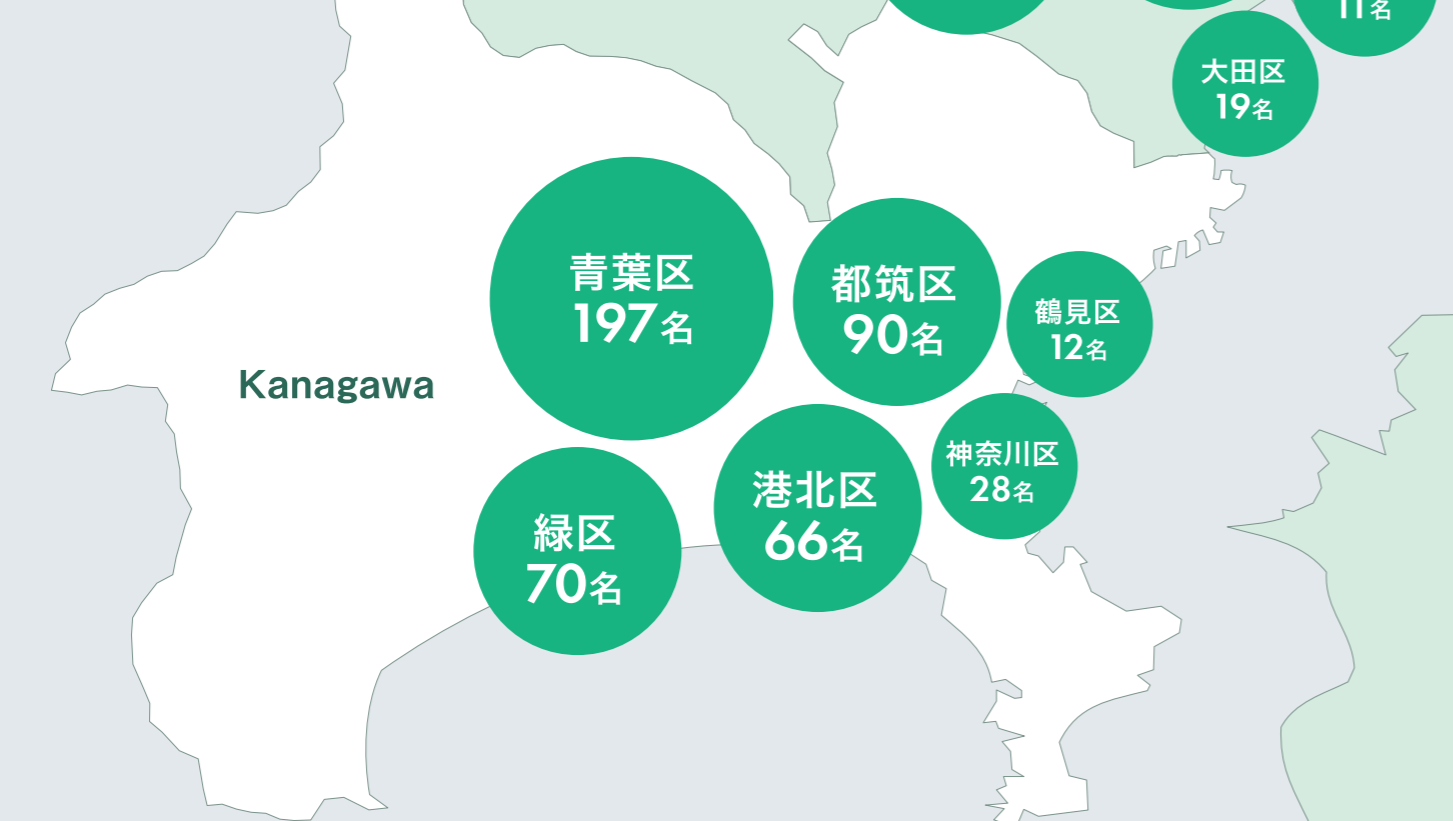


茶室

茶道部員が使う茶室。部屋の造りや道具も本格的で、和の心が学べる空間です。

通学エリア

県内外の生徒が本校に通っています。神奈川県内はもちろん、東京都の生徒も多く在籍し、勉学に励んでいます。

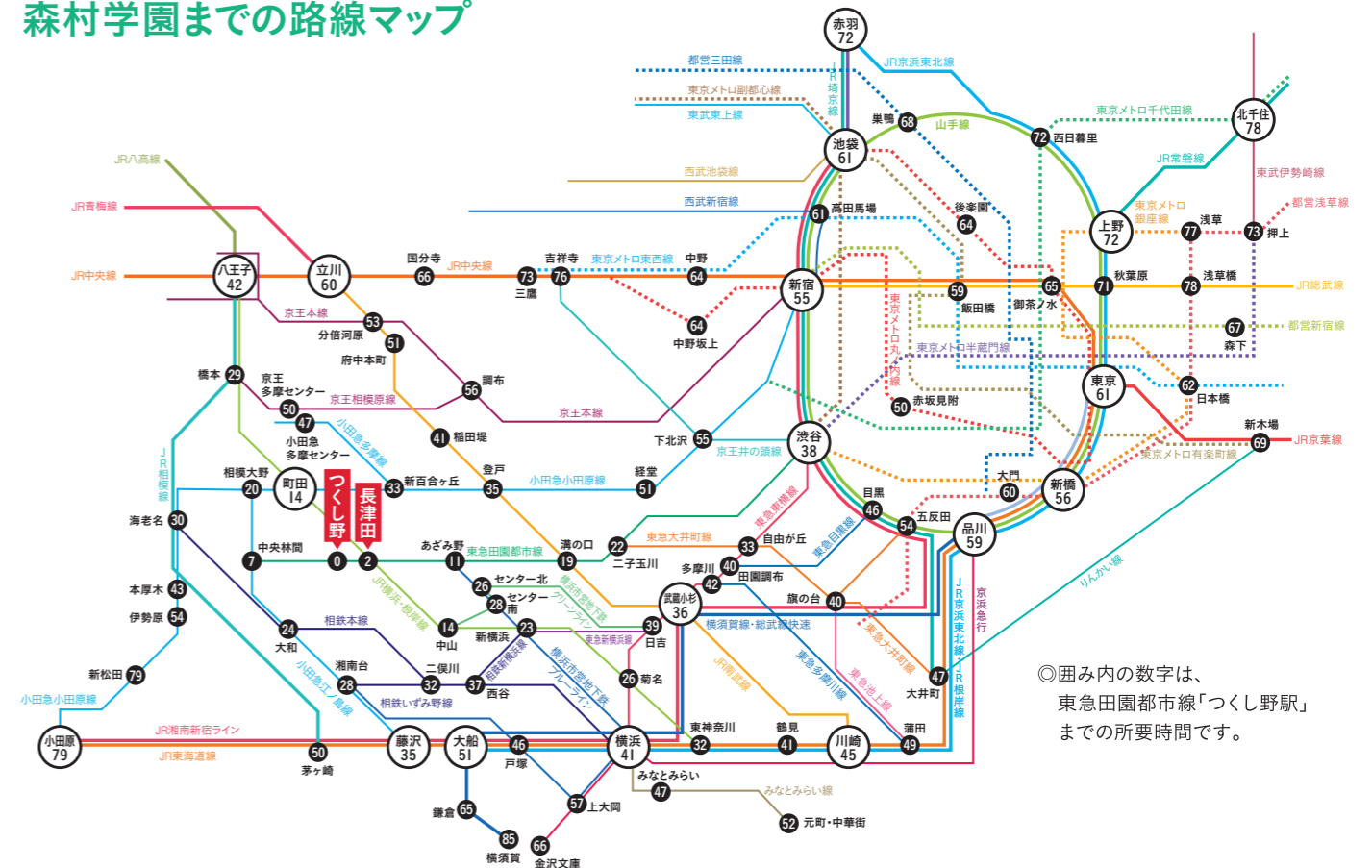


通学地域別生徒数 (2026年度4月中1～高3)

神奈川県横浜市青葉区	197	神奈川県横浜市鶴見区	12	神奈川県横浜市磯子区	4
東京都世田谷区	98	神奈川県厚木市	11	神奈川県横浜市保土ヶ谷区	4
神奈川県横浜市都筑区	90	神奈川県川崎市幸区	11	東京都渋谷区	4
神奈川県川崎市宮前区	89	神奈川県川崎市多摩区	11	東京都八王子市	4
東京都町田市	89	東京都目黒区	11	神奈川県川崎市川崎区	3
神奈川県横浜市緑区	70	神奈川県横浜市瀬谷区	9	東京都港区	3
神奈川県横浜市港北区	66	神奈川県横浜市中区	9	神奈川県横浜市金沢区	2
神奈川県相模原市南区	41	神奈川県相模原市緑区	9	神奈川県茅ヶ崎市	2
神奈川県川崎市高津区	40	神奈川県横浜市戸塚区	8	東京都狛江市	2
神奈川県大和市	40	神奈川県横浜市西区	8	神奈川県綾瀬市	1
神奈川県横浜市神奈川区	28	神奈川県横浜市泉区	8	神奈川県伊勢原市	1
神奈川県川崎市中原区	26	東京都品川区	8	神奈川県中郡大磯町	1
神奈川県藤沢市	23	神奈川県海老名市	7	神奈川県平塚市	1
神奈川県横浜市旭区	20	神奈川県座間市	7	東京都稲城市	1
東京都大田区	19	神奈川県横浜市港南区	5	東京都江東区	1
神奈川県相模原市中央区	18	神奈川県横浜市南区	5	東京都中央区	1
神奈川県川崎市麻生区	17	神奈川県鎌倉市	5	東京都日野市	1

(単位：名)

森村学園までの路線マップ



生徒の生活面に関するQ&A

森村学園では生徒の過ごしやすさを優先に、相談のしやすい環境を整えています。生活面を中心によくある質問をまとめました。

- Q** 1学年何クラスですか？
クラス替えは毎年ありますか？

A 1学年5クラス編成です。1クラスはおおよそ38～42名の生徒が在籍しています。(中等部・高等部6学年合わせて約1,150名在籍)クラス替えは毎年実施されます。中等部1年生から高等部1年生までは、学力、男女バランスおよび「初等部出身者」と「受験入学者」の割合等も考慮して、クラスを編成します。高等部2・3年生は文理選択に応じたクラス編成となります。
- Q** 男女比はどのくらいですか？

A 入学試験による合格発表を行う際には、男女を混ぜて成績上位から発表していくために、年によっては男女比に若干の差が生じています。2026年度の中等部生の在籍数は、男子297名、女子305名です。
- Q** 部活動について教えてください。

A 部活動は任意の活動ですが、中等部1年生は9割以上の生徒が何らかの部活動に所属しています。中等部生は毎週水曜日と木曜日、高等部生は毎週水曜日が部活動のない日に設定されており、学習や生活のリズムを週の間で整えられるようにしています。
- Q** 食堂はありますか？

A あります。「カフェテリア」では、数種類の日替わりメニューや、カレー、麺類等が提供され、お弁当の販売もしています。座席は約300席あり、家庭から持参したお弁当をカフェテリア内で食べることも可能です。カフェテリアは昼休みの食堂としての役割だけでなく、放課後は「軽食時間」(営業時間限定)もあり、憩いの場としても利用できます。
- Q** 初等部からの進学者とうまく溶け込めますか？

A 中等部1年生は、「初等部出身者」と「受験入学者」が半々になるようなバランスの良いクラス構成を行っています。「初等部出身者」は新しく友達になる「受験入学者」を心待ちにしている上に、クラス担任は班編成や行事のグループ分け等にもそれを反映させ、同じ仲間としての意識を持たせるように心掛けています。また、お互いを認め、理解し合えるようなエンカウンターを実践し、交友関係を深められるような機会も設けています。
- Q** 携帯電話やスマートフォンの持ち込みは可能ですか？

A 中等部生、高等部生ともに持ち込みは可能です。ただし、登校したら必ず電源を切るというルールを徹底しています。